

文化財保存全国協議会（文全協）・奈良歴史遺産市民ネットワーク 共催

平城宮跡史跡指定100周年記念

第13回文全協歴史講座

▲奈良市・平城宮跡の復元朱雀門

今年は、平城宮跡史跡指定100周年にあたります。これを記念する企画・シンポジウム等が各地で行われてきましたが、当会（保存運動側）も平城宮跡史跡指定100周年を考える歴史講座を企画しました。ぜひご参加ください。

日時 2022年 **12**月**11**日(日) 13:30～16:30

会場 奈良県文化会館 集会室A・B (定員100名)
近鉄奈良駅より東へ徒歩5分 奈良県庁西隣 (奈良市登大路町6-2 TEL:0742-23-8921)

資料代 500円 (どなたでも参加できます。但し、新型コロナ感染症対策にご協力をお願いします。)

わたなべあきひろ

講師：渡辺晃宏 氏 (奈良大学教授)

平城宮跡の過去・現在・未来

60年に及ぶこれまでの平城宮跡の発掘調査成果とその意義を概観し、平城宮跡の今後あるべき姿を展望します。

おがさわらよしひこ

講師：小笠原好彦 氏 (滋賀大学名誉教授・文全協代表委員)

1966年に発掘された内裏東方官衙とその後

平城宮跡の内裏東方官衙で検出された、塙積基壇建物を配し、版位(へんい)が出土した建物群の性格と予期せぬ研究の展開についてお話しします。

問い合わせ先 杉田 義 TEL・FAX 0743-52-1404 (事前の予約はいりません)

※コロナ感染状況により、延期または中止する場合があります。文全協HP、フェイスブック等でご確認ください。